

情報通信ネットワークやデジタル映像機器の普及により、画像は我々の生活にとって欠かせないメディアとなってきました。このようなイメージメディアは撮像・通信・放送・蓄積・表示・印刷・生成等のさまざまな分野で扱われていますが、これまでは個々の分野において独立に画像品質「イメージメディアクオリティ」が議論され、国際標準化が進んできました。このような状況を踏まえ、この分野の研究開発の方向性とその国際的な位置付けを考慮して、英文 A 論文誌で小特集（2021 年 6 月号）を企画致しました。多くの方々の積極的な投稿を期待しております。

## 1. 対象分野

撮像・通信・放送・蓄積・表示・印刷・生成に関するイメージメディアクオリティ関連技術全般

- ・撮像デバイス（CCD, CMOS）
- ・画像入力装置（カメラ・ファクシミリ・スキャナ・3次元など）
- ・QoS 制御, モバイル端末, スケーラブル符号化
- ・デジタル放送, 素材伝送, 立体テレビ, 超高精細度テレビ
- ・アーカイブ, データベース, Web システム
- ・表示デバイス（CRT, LCD, PDP, EL, 3次元など）
- ・ハードコピー（プリンタ）, 印刷技術（網点, 誤差拡散）
- ・画像符号化（符号化画質評価, 主観画質反映符号化など）
- ・画質主観評価法（DSIS, DSCQS, SSCQE など）
- ・画質客観評価法（VQEG など）
- ・画像再現, 画像修復, CG, CV, アニメーション
- ・視覚の心理・生理, 色彩論, 色再現, 高臨場感, 感性情報
- ・ヒューマンインタフェース, 福祉（高齢者, 障害者用システム）
- ・セキュリティ（電子透かし, 個人認証）

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とし、原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。著者のうち少なくとも 1 名は本会会員である必要があります。詳細は、学会の英文論文誌投稿のしおり（[https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_ess.html](https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) より）を御参照下さい。また、査読後の再提出（条件付採録）の期間が通常の 60 日以内よりも短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。なお、論文採録の場合は掲載料を論文誌掲載前にお支払い頂きます。定められた期日（2021 年 12 月 15 日）までに掲載料が払われなかった場合、採録が取り消しになります。

また、採録となった論文は、掲載料が支払われた後すみやかにオンライン上で公開されます。詳細は [https://www.ieice.org/eng/shiori/page2\\_ess.html#8](https://www.ieice.org/eng/shiori/page2_ess.html#8) を御覧下さい。

## 3. 論文投稿締切日 2020 年 6 月 15 日（月）厳守

## 4. 論文投稿方法

学会の投稿システム [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から御投稿下さい。なお、Web での登録の際、[Special-IM] Image media quality を選択して下さい。Web による電子投稿の際、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” に承諾して頂きます。

## 5. 小特集編集委員会

編集委員長 大橋剛介（静岡大）

編集幹事 平井経太（千葉大）

編集委員 今井國治（名大）、魚森謙也（阪大）、小川貴弘（北大）、工藤博章（名大）、黒木修隆（神戸大）、桑原教彰（京都工芸繊維大）、齊藤新一郎（ソニーセミコンダクタソリューションズ）、杉山賢二（成蹊大）、塚田正人（NEC）、土田 勝（NTT）、椿 郁子（東京工科大）、中口俊哉（千葉大）、福島和英（KDDI）、堀田裕弘（富山大）、前田 充（キヤノン）、宮田高道（千葉工業大）、山田光穂（東海大）

## 6. 問合せ先

平井経太 千葉大学大学院工学研究院

TEL [043] 290-3914, E-mail: hirai@faculty.chiba-u.jp